



# 町の在り方を発想転換で考える一年に

北海道福島町議会議長 溝部 幸基

新春のお慶びを申し上げます。

日頃から議会に對しまして温かいご理解とご協力を頂き、心から厚くお礼申し上げます。昨年八月の改選を経て、新しい議会構成でスタート。まちづくり・議会、両基本条例の主旨を踏まえ、町民の皆様の期待に応えるべく、積極的に議会活動を進めております。

新年度からスタートする、第5次総合計画・総合戦略については、特別委員会の調査を終え、議会としての報告書を手交しております。

地方創生・総合戦略の重要な視点としては、政策形成過程に町民のみなさんが、どう参画する事ができるかの工夫が必要ですし、町は自分達でつくっていくものであると言う「自助」「互助」「自治」の意識を育てていく事も大切です。

そのためにも議会としては、活動の透明性を図り、積極的に情報を発信し、町民の皆さんとできるだけ多く対話し共通認識を持てるような機会をさらに提供してまいります。そのことをしっかりと肝に銘じながら、議会は「町民が実感できる政策」の具現化を目指して、計画・予算から決算・評価に至る様々な角度から提言する取組みを進めております。「総合計画・総合

戦略への提言・検証」、「行政事務事業評価」、

「所管調査での提言」、今後の課題としては、

「一般質問・所管調査事項等の具現化」、真の自治を目指した「住民との協働」の取組みがありますし、提言にこだわりを持った議会活動をさらに展開してまいります。

議会基本条例の取組みについては、しっかりと検証し、諮問会議の答申をいただき、議員全員協議会で確認した『行動計画』に沿って「さらに改善を進めてまいります」。

高度経済成長期の手法から、急激な変革を求めず、視点を自分たちの地域に置き、汗をかき、知恵を出し合いゆっくり、時間をかけ、人材を育て、地域の資源を有効に活用する、「地元の人と仕事を取り戻す：1%戦略」と言う考え方があります。規模や量的な拡大には限界があることを反省し、各々の暮らしの中の1%の可能性を試み、積み上げていくことから始める。

私自身も、百年先を見据えた地方自治体としての、福島町の在り方を発想転換で考える一年にしたいと思っております。

町民の皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念いたしました。新春のご挨拶といたします。

謹んで新年の  
中祝詞を申し上げます

貴家皆様のご健康とご多幸を

お祈り申し上げます

本年もなにとぞよろしくお祈り申し上げます

平成二十八年 元旦



〒〇四九―一三二二

北海道松前郡福島町字福島二五七番地一

溝部 幸基

裕子

TEL (〇三九) 四七―一五三三番  
Email: kouki.m@brown.plala.or.jp